

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面紹介

- ◇ 5・3憲法集会
- ◇ 文科省「教員勤務実態調査速報値公表」に対する書記長談話 他

神戸市中央区中山手通 4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集人:兵高教書記局

第94回兵庫県メーデー神戸中央大会

＝支え合い・助け合う社会をつくり、くらしをまもる！笑顔あふれる未来をめざし力をあわせ、ともに進もう＝

メーデー宣言

私たちは本日、第94回兵庫県メーデー神戸中央大会を開催した。労働者の地位や労働条件の向上、民主主義の発展や恒久平和を希求する、メーデーの社会的意義は不変である。多様な仲間がつながること、団結することの重要性を再認識するとともに、再び多くの仲間が結集することができた、この喜びを皆で分かち合おう。

長引くコロナ禍や急激な物価高は、私たちのくらし、とりわけ立場の弱い人々に大きな影響を与えている。持続的な賃上げや、有期・短時間・契約などで働く仲間の処遇改善、適正な価格転嫁、フリーランスをはじめ曖昧な雇用の課題解決、そして社会的セーフティネットの強化など、くらしをまもる取り組みを最優先に進めよう。

あわせて、本年は阪神・淡路大震災から28年を経過し、甚大な被害をもたらしたトルコ・シリアの大地震は記憶に新しいが、わが国でも気候変動に伴う自然災害が頻発化・激甚化している。これら災害の記憶を風化させることなく、被災地の復興・再生と、その教訓を活かした防災・減災対策を進め、支え合い・助け合いの社会をつくって行こう。

国際社会に目を向ければ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は未だ終結の兆しすら見えず、この間の北朝鮮のミサイル発射なども相まって、今この時も世界の平和が脅かされている。平和と秩序を武力で破壊する暴挙は断じて許されない。まもなく被爆地・広島で、核兵器保有国をはじめとする世界のトップリーダーが一堂に会する、歴史的なG7サミットが開催される。唯一の戦争被曝国として、核兵器の廃絶と恒久平和の実現、そしてそのための国際社会の結束を強く求めよう。

さらに、ミャンマー軍事政権による市民弾圧など、いまだに人類普遍の価値たる人権を脅かし、侵害し続ける国もある。今こそ私たちは、平和・人権・環境・労働が守られる、自由で民主的な世界の構築に向け、国際連帯を深めて行こう。

すべての働く仲間が安心して働きくらすために、ジェンダー平等の実現はもとより、多様な価値観・背景を持つさまざまな人たちとの対話を進め、持続可能でよりよい世界、誰一人取り残されることのない社会、笑顔あふれる未来をめざし、力を合わせ、ともに進もう。

以上、ここに宣言する。

2023年4月29日

第90回兵庫県メーデー神戸中央大会



団結がんばろう！

主催者あいさつ (福永連合兵庫会長)

4月29日(土)午前10時より、神戸市大倉山公園野球場で第94回兵庫県メーデー神戸中央大会(実行委員会・連合兵庫、連合神戸地域協議会、兵庫県労働者福祉協議会、神戸労働者福祉協議会)が開催され、約8000人が結集しました。兵高教からも本部執行部・県高支部の組合員が参加しました。

式典の開会にあたり、主催者を代表して福永実行委員長(連合兵庫会長)があいさつに立ちました。

冒頭、ロシアのウクライナ侵攻やスーダンでの紛争による惨禍に触れ、「戦争は最大の人権侵害である」と平和の大切さを訴えるとともに、「トルコ・シリア地震では兵庫県の人口の約半数にあたる250万人がテントでの避難生活を余儀なくされている。阪神淡路大震災で世界中の人びとに寄り添い支えられてきた私たちとして、被災された方々が前を向き希望をもって歩みを進める一助にしてほしい」との思いで、今回メーデー会場で

募金活動を実施している。みなさんの協力をお願いしたい」と訴えました。続いてメーデーの起源に触れ「メーデーは世界の労働者が連帯を確認する日であり、労働者の地位や労働条件の向上、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、役割を果たそうという社会的意義を持つものである」と述べました。さらに、今春闘で大手企業を中心に賃上げ回答が相次いだことをふまえ「賃上げのさらなる広がり、格差是正に向けて連携を強める」と強調するとともに、「男女共同参画を着実に推進し、職場や社会のジェンダー平等の実現にとりく

もう」と呼びかけました。

会場には、兵庫県、神戸市、各政党、事業団体および兵庫退職者連合、部落解放同盟兵庫連合から多くの来賓の方がたが駆けつけてくださり、代表して片山安孝兵庫県副知事、久元喜造・神戸市長、井坂信彦衆議院議員(立憲民主党兵庫連代表)よりあいさつがありました。

最後にトルコ・シリア大地震の被災地支援や非正規労働者の処遇改善などを盛り込んだ「メーデー宣言」が満場の拍手により採択され、式典を終えました。

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

文科省「教員勤務実態調査速報値公表」に対する書記長談話

2023年4月28日

日本教職員組合書記長 山木 正博

本日、文科省は「教員勤務実態調査（2022年度）集計【速報値】」を公表した。

調査結果によると、平日1日「平均」の在校等時間と持ち帰り時間の合計は小学校11時間22分（時間外3時間37分）、中学校11時間33分（同3時間48分）、高校10時間35分（同2時間50分）であった。時間外分を1か月（20日）で計算すると、小学校72時間20分、中学校76時間、高校56時間40分であり、いずれの校種でも給特法及び条例等にもとづく上限時間（月45時間）を大きく上回っている。また、休日分を加えると、すべての校種で過労死ラインの80時間を超え、特に中学校では100時間を超えている。連合総研調査や日教組調査と同様の実態が改めて浮き彫りになった。改正給特法が施行されてから3年が経過したにもかかわらず、長時間労働の是正に至っていないことは看過できない。

教職員の精神疾患、離職、欠員を減らすとともに、志望する若者を増やすためにも、正規の勤務時間内に授業の準備や成績処理等を終えられるような業務量とすることが必要である。そのためにも、早急な業務削減と持ち授業時数の上限設定を含めた定数改善が不可欠である。

今回の速報値の公表に先立って行われた文科省の調査研究会等では、給特法について、あくまで枠組みを維持し、教職調整額の見直しや新たな手当の創設等を行うべきとの意見が挙げられている。しかし、処遇面の措置で長時間労働は是正されない。教員は様々な業務におわれ、授業の準備や成績処理等を正規の勤務時間外に行わざるを得ない現状にある。にもかかわらず、給特法があるために、正規の勤務時間外に行う超勤4項目以外の業務については「自主的・自発的」に行っているという実態と乖離した法的評価がされてしまっている。給特法の廃止・抜本的見直しを行い、民間労働者と同様に、教員についても業務に従事した時間を「勤務時間」と認めるべきである。さらに、長時間労働を抑制させるためにも、時間外勤務手当・休日勤務手当を支給させるという財政的サンクションを課せるようにする必要がある。今後、行われる中教審においては、このような議論が行われるべきである。

日教組は、教職員の生活時間を取り戻し、だれもが安心して働き続けられる職場、すべての子どもにゆたかな学びを保障する学校をめざし、「学校の働き方改革」のとりくみを強化する。

以上

人権教育ひょうご
総会・学習会開催

日時 5/27(土) 13:30~16:30

場所 ラッセホール5階

サンフラワー

講演「子どもの権利とその実践(仮)」

講師 曾我智史さん

(弁護士・兵庫県弁護士会子どもの権利委員会副委員長)

※ 参加ご希望の方は書記局までご連絡ください。

2023年度

第4回臨採者学習会

- 採用試験対策講座(4) -

6月10日(土) 13:30~16:30

神戸市教育会館

【内容】

★ 一次試験・集団面接において
(集団面接の練習を行う予定です)



松尾貴史さん



憲法アピール(長富さん)

5・3兵庫憲法集会

5月3日(水・祝)午後、神戸・みなとのもり公園に約6500人が集まり、「5・3兵庫憲法集会」が開催されました。

カオリンズ&川口真由美さんによるオープニングアクトに続き、主催者を代表して羽柴修弁護士があいさつに立ち、続いて井坂信彦衆議院議員(立憲民主党)が現下の国会情勢も交えながら、憲法の役割と憲法に基づくまっとうな政治を取り戻すことの重要性を訴えました。その後、ゲストスピーカーの松尾貴史さんより「日本国憲法は今もなお世界で最も先進的な憲法」「憲法は権力者を縛るものであり、権力者が憲法を変えようとすることがいかに危険であるか」など、憲法をめぐる今日の問題をわかりやすく整理し、お話をいただきました。

集会の締めくくりには、第25代高校生平和大使の長富日向さん(甲南女子高校3年生)が平和を希求する自らの思いを訴え、高校生平和大使の活動をアピールした上で、「5・3憲法アピール」を読み上げて提案し、満場の拍手で採択され、閉会しました。

兵高教第37回定期大会

とき：6月24日(土) 10:30~16:30 (受付 10:00~)

ところ：神戸市教育会館 501号室

※各支部・専門部は6月8日(木)までに代議員の報告をお願いします。